

精緻な診断チェックと 細かな省エネ施策の積み上げ

01

WIN-W : Sumitomo Electric Wintec(Wuxi) Co.,Ltd.

省エネ活動を支える きめ細やかな診断と電話会議



住友電工運泰克(無錫)有限公司
製造部 部長 兼 安全環境部 部長 | 製造部 設計課 課長
趙 正権 | 王 亜緋

1994年、無錫市に設立された当社は、エアコンのコンプレッサモータや車載電装品向けの巻線、時計用の超極細線などを製造しています。生産工程上、焼付炉が必要なため、コストに占める電力費の比率が大きいのが特徴です。省エネ診断を受け、設備のインバータ化、サンルーフ設置による照明削減や高効率モータの設置などさまざまな省エネ活動に取り組みました。2014年には超極細線工場にて、冬期における外気取り入れ設備を新設し、エアコンの停止や負荷低減を実現。また焼付炉を現地調達の新材で包み保温効果の向上を図っています。

このような数々の取り組みにより、毎期4%の省エネ活動を積み上げてきました。



設備のインバータ化

を積み上げてきました。2015年度までの3年間は目標を達成しており、今後も生産プロセスそのものの見直しなども視野に入れ、目標必達に向け取り組んでいきます。

特に月に一度の住友電工ウインテック(株)の本社・信楽事業所との電話会議や2カ月に一度のグループ国内外生産工場の全てが参加する電話会議での意見交換が役に立っています。そして現場の改善意見を、当社が丁寧に検討してくれる社風を嬉しく思っています。



高効率モータの設置

02

SPW : Sumiden Powder Metallurgy (Wuxi) Co., Ltd.

自社工場だけでなく 地域社会の環境負荷低減にも貢献



住電粉末冶金(無錫)有限公司
董事/副総経理 兼 製造部 部長 | 安全環境室 係長
劉 雲舟 | 何 文静

1995年に無錫市に設立された当社は、自動車のエンジンやトランスミッションおよびエアコン等のコンプレッサに使用する焼結製品を製造・販売しています。

省エネ活動は、これまで工場天井照明のLED化や社員用シャワールームの温水製造に焼結炉循環水の排熱を利用するなどの施策を実践してきました。2014年以降は、磁気探傷室の照明を蛍光灯からLEDに交換。消費電力が低減されたほかLEDは熱をもたないので磁気探傷室の温度上昇も抑えられます。そのため空調の消費電力も抑えられる



工場照明のLED化

シャワーの温水に焼結炉循環水の排熱を利用

ようになりました。ほかにも当社は、操業20年を迎えるため、焼結炉や空調の更新が今後必要となります。まだまだハード面で省エネを図る余地があると考えています。

無錫市は太湖のほとりにあり、私たちはその美しい太湖を守らなければなりません。今後も自社工場内の環境負荷低減だけでなく、社会における環境負荷低減に貢献する意識を強く持ち、環境保全に取り組んでいきたいと思いをします。

03

SPEC : Sumitomo Electric Photo-Electronics Components (Suzhou), Ltd.

積極的な省エネ活動と 職場環境の改善活動を両立



住友電工(蘇州)光電子器件有限公司
製造部 副部長 兼 製造科 科長 | 製造部 製造科 主管
王 国成 | 時 永剛

当社は蘇州市に2007年に設立され、光デバイス、光トランシーバーを製造し、グループ内の光部品の量産工場であるとともに独自の開発部門も擁しています。

省エネ診断を2016年3月に初めて受けました。これまでも自ら照明のLED化や二重窓設置などに取り組んできましたが、省エネ診断では非常に詳細な数値を示して具体的な提案を受けました。たとえば工場へ供給する冷却水の水圧。若干高めであると指摘を受け、即改善しました。ほかにもポンプのインバータ化など、省エネの取り組みはまだまだ伸び代があると考え、年4%の省エネ施策の積み上げ目標必達を目指します。当社では、クリスマスに家族含め

社員全員にTシャツを配っていますが、2015年のTシャツは地球環境保全をテーマとし、社員への意識の浸透を図っています。

そして職場環境改善にも積極的に取り組んでいます。職場内のPM2.5や二酸化炭素濃度の測定、食堂における床暖房設置など、社員の要望にも可能な限り応え、2012年には江蘇省から「従業員と会社の関係の良い模範企業」賞、2013年には「組合と会社の関係の良い模範企業」賞を受賞するなど、社員と良好な関係を築いています。



冷却水の水圧を適正に保持

環境データを常に監視

確実な結果を出すために さらなる強化策を打ち出していきます

17VISIONで掲げた製造拠点を対象とする2017年度省エネ目標は、2012年度対比で売上高原単位20%削減するという大きなものです。その目標達成のために、これまで国内外で省エネ診断活動や各事業本部のマザー工場と連携したフォロー支援をしてきました。

省エネ活動は、効率的な生産を行い、無駄な資源・エネルギーを削減することで、CO₂排出量の削減とともに、コスト体質強化に直結する活動です。また、直接エネルギーを削減する活動だけでなく、失敗損やロス削減・歩留向上といった品質向上活動、生産速度アップ等の生産性向上活動、保全活動による設備停止削減など、エネルギー削減につながる全ての改善活動の事です。そのためにも、国内にとどまらず、グローバルに省エネ活動を推進しています。

COP21を意識し、日本国内のみならず海外含めたグループ全体での温室効果ガス削減を目指すことこそが私たち住友電工グループが果たすべき社会的責任であると認識し、これからもグループ一丸となって取り組んでいきます。

安全環境部 省エネルギー推進室長
小森 弘毅



※所属・役職は取材時点のものです。